



校長だより

ざまたん
座間小キャラクター

座間市立座間小学校（電話 251-0009）
校長 大谷 一

2024年も残り1ヶ月となりました。2学期は大きな学校行事がありました。そのすべての行事が子どもたちにとって、貴重な体験になったのではないかと思います。一人だとできないことがみんなで力を合わせるとできるようになります。逆に、一人だとできるのにみんなが集まるとできなくなってしまうなど、学校という集団生活は、周りの人と上手に協力をしないとうまくいかないことが多いです。しかし、そのようにうまく行かないような体験も、人の成長にとっては必要な体験なのではないかと思います。多くの体験をすることを大切にしたいと思います。



2年いもほり



第129回運動会

今年4月18日（木）に6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果から、本校が全国と比較して、結果が良くなかった問題を国語・算数から各2問ずつ紹介します。

<国語1>漢字の書き取りで、「運動会のキョウギの作戦を考える」の「キョウギ」を書く正答率が国の正答率と最も差が出てしまいました。

<国語2>ある児童が4月に読んだ本の記録を見て、その児童が4月のふり返しをしている文章としてふさわしいものを4択から選ぶ問題です。

A「大造じいさんガン」：「いつまでも、いつまでも、見まもっていました。」という最後の一文が心に残った。残雪への気持ちが変わるところに感動した。

B「星の王子さま」：キツネが「心で見なくちゃ」と話したところが、形のないものの大切さを考えるきっかけになった。

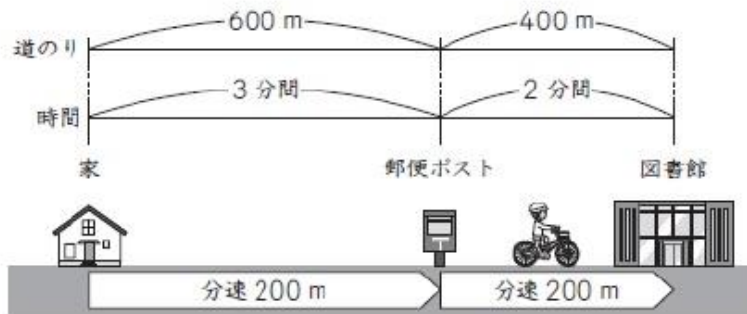
C「オニグモじいさんの朝ごはん」：「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」という言葉に心があたたかくなった。シリーズの他の作品も読みたい。

A～C3つの読書記録から4月のふり返しとして最もふさわしいものを選びなさい。

1. 読書を通して、学校図書館や地いきの図書館の利用の方法を知ることができると気づいた。
2. 読書を通して、科学的な事実について、ぎ問に思ったことを調べて解決できると気づいた。
3. 読書を通して、自分が文書を書くときに役に立つ書き方を学ぶことができると気づいた。
4. 読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができると気づいた。

<算数1>

- (4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。

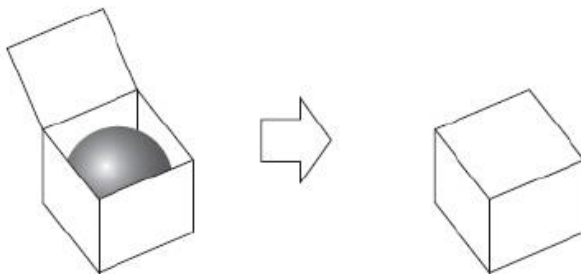
答えを書きましょう。

<算数2>

- (3) 直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

【正解】<国語1 競技> <国語2 4> <算数1 (分速)200(m)>
<算数2 $22 \times 22 \times 22$ >

本校が全国と差がでているところなどの結果をなぜそうなったのかを分析して、どのような授業をすすめていけばよいのかを考え、授業改善をすすめていきます。

この調査問題や正答、解説などは、下記で調べることができます。

<https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>